

## 福田美術館・嵯峨嵐山文華館 夏休み向けイベント情報を公開 ～初の試み「喋っていいDAY!」、8月は小学生無料など ユニークな取り組みが目白押し～



福田美術館、嵯峨嵐山文華館（京都府右京区）は、2024年7月13日（土）から10月1日（火）まで、江戸時代以降に活躍した画家たちが描いた動物画を展示する「福田どうぶつえん」（福田美術館）、江戸から明治時代に活躍した画家たちが描いた様々な鳥や植物を描いた絵画を展示する「嵯峨嵐山かちょうえん」を開催します。**本格的な夏の訪れとともに開幕する両展に合わせ、夏休み中の子どもたちや、学生の方にも嬉しいユニークなイベントを多数企画しています。**日本画に詳しくない方や、普段美術館に馴染みがない方でも気軽に参加できる4つのイベントをご紹介します。

### 両館共通

#### 1. お喋りしながら楽しくアート鑑賞ができる「喋っていいDAY!」を初開催

福田美術館・嵯峨嵐山文華館では、通常の展示期間中も展示室での会話を禁止していませんが、周囲への迷惑にならないようご配慮をお願いしています。そこで友人や知人、家族、恋人と楽しく感想を述べあったり、小さなお子様連れでも気兼ねなく美術鑑賞をしたいという方のために、毎週火曜日は全館「お喋りOK」とする「喋っていいDAY!」とします。アートと一緒にコミュニケーションを楽しみながら、いつもよりほんの少し賑やかな美術館を体感できます。

イベント名：「喋っていいDAY!」

期間：2024年7月13日（土）～10月1日（火）のうち、毎週火曜日

会場：福田美術館、嵯峨嵐山文華館

#### 2. 夏休みにアートに触れよう！ <8月1日～31日は小学生の入場料が無料>

想像力、表現力などの豊かな感性を育むきっかけづくりや、夏休みの思い出づくりに役立てて欲しいとの思いから、福田美術館・嵯峨嵐山文華館両館で、8月の1ヶ月間の小学生（13歳未満）の入館料を無料とします。無料期間中鑑賞できる企画展「福田どうぶつえん」「嵯峨嵐山かちょうえん」では動物や花鳥をモチーフとした様々な日本画を鑑賞できるほか、「嵯峨嵐山かちょうえん」では絵画に添えられたQRコードを読み込むとその鳥の鳴き声を再生できるなど、生き物の生態についても知ることが出来ます。

期間：2024年8月1日（木）～31日（土）

会場：福田美術館、嵯峨嵐山文華館

※保護者の方は必ずご同伴願います。

### 3. 文華館に鷹匠がやってくる！ ～飛ぶ鷹を間近で見て、花鳥園の世界に触れる～

嵯峨嵐山文華館では、美術館と花鳥園の融合を目指した企画展「嵯峨嵐山かちょうえん」の開催に合わせ、7月28日（日）の1日限定で、鷹匠を美術館にお招きします。本物の鷹を間近で鑑賞しながら鷹匠によるお話を聞くとともに、日本古来の伝統文化である鷹狩実演を見せていただきます。

イベント名：「文華館に鷹匠がやってくる～鷹匠によるお話&鷹狩り実演」

期間：2024年7月28日（日） 13:30～14:30

会場：嵯峨嵐山文華館

参加費：無料（入館料のみ）



## 福田美術館

### 4. 朝活イベント

YouTubeや「まいまい京都」のガイドでお馴染み、副館長・竹本理子による館内ツアーを開催します。開館前の美術館内を副館長と共に巡りながら、設立の経緯や細部に至るまでこだわりが詰まった建築等について、軽妙なトークを聞くことができる貴重な機会です。普段は立入ることができない中庭にも特別に入ることができ、普段とは違った角度から嵐山の絶景をお楽しみいただきます。大堰川と嵐山のパノラマビューが広がるミュージアムカフェでのモーニングコーヒーも格別です。開催中の「福田どうぶつえん」を併せて鑑賞できます。

（本イベントのチケットを受付で提示すると、近接の嵯峨嵐山文華館で割引が適用されます）

イベント名：

夏の朝活トーク「福田美術館・建築のひみつ」

日時：7月28日（日） 9:00～10:00

（※8:50から 受付開始）

定員：30名

参加費：税込3,300円（入館料込）

申込方法：

福田美術館公式オンラインチケットサイトより事前申し込み

募集締切：7月27日（土） 17:00



## プレスリリース/広報画像に関するお問合せ

福田美術館／嵯峨嵐山文華館広報事務局（共同ピーアール内）

担当：田中、樋口

TEL： 03-6264-2045 Email： [fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp)

## 一般の方からのお問合せ

TEL： 075-863-0606（代表） Email： [info@fukuda-art-museum.jp](mailto:info@fukuda-art-museum.jp)

## 夏の企画展 概要

### この夏、福田美術館が 「福田どうぶつえん」に!?

美術館と動物園の融合を目指した展覧会。  
江戸時代以降に活躍した画家たちによる  
「動物画」を展示します。



- 企画展名 「福田どうぶつえん」
- 会場 福田美術館
- 会期

2024年7月13日（土）～10月1日（火）  
<前期> 7月13日（土）～8月26日（月）  
<後期> 8月28日（水）～10月1日（火）

- 開館時間 10:00～17:00（最終入館 16:30）

- 休館 8月27日（火）／9月10日（火）  
9月26日（木）

- 料金 一般・大学生 ¥1,500（1,400）  
高校生 ¥900（800）  
小中学生 ¥500（400）  
障がい者と介添人1名まで  
各 ¥900（800）円  
\* 幼児無料  
\*（ ）内は20名以上の団体料金

### 嵯峨嵐山文華館が 「かちょうえん」に変身!?

日本の美意識を大切にする「美術館」と  
「花鳥園」の融合を目指した展覧会。  
様々な「花鳥画」を紹介します。



- 「嵯峨嵐山かちょうえん」
- 嵯峨嵐山文華館

- 8月27日（火）／9月10日（火）

- 一般・大学生 ¥1,000（900）  
高校生 ¥600（500）  
小・中学生 ¥400（350）  
\* 障がい者と介添人1名まで  
各 ¥600（500）  
\* 幼児無料  
\*（ ）内は20名以上の団体料金

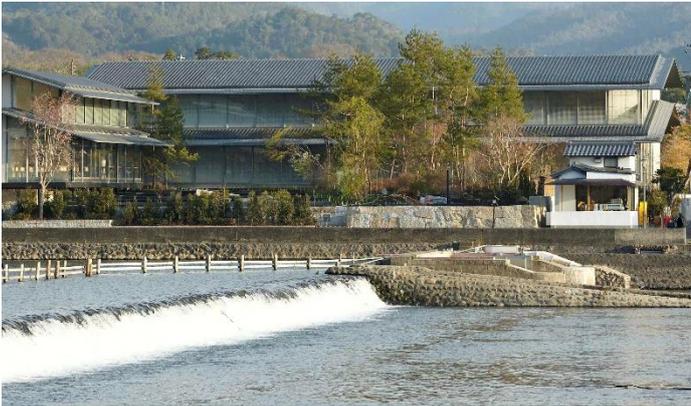
<両館共通券>  
一般・大学生：2,300円／高校生：1,300円／小中学生：750円／  
障がい者と介添人1名まで：各1,300円

## 福田美術館について

### 美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

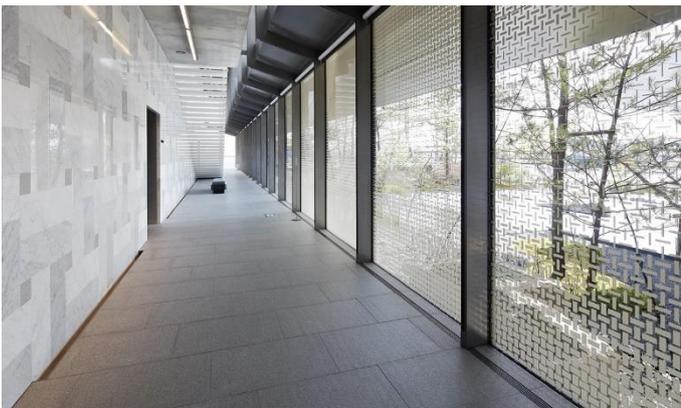
京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという想いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了してきました。この美しい自然と共に日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。

**福田美術館は2024年10月で開館5周年を迎えます。**今後も「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。



### 嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

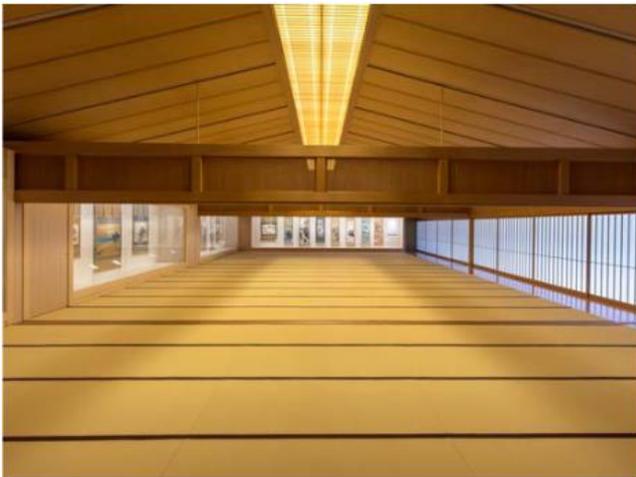
福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



## 嵯峨嵐山文華館について

### 百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が撰ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。また120畳の広々とした2階の畳ギャラリーでは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望むテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。

